

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 10 月 17 日 (2013.10.17)

【公表番号】特表 2013-503900 (P2013-503900A)

【公表日】平成 25 年 2 月 4 日 (2013.2.4)

【年通号数】公開・登録公報 2013-006

【出願番号】特願 2012-528083 (P2012-528083)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/04 (2006.01)

A 0 1 N 43/56 (2006.01)

A 0 1 N 25/00 (2006.01)

A 0 1 N 25/30 (2006.01)

A 0 1 P 7/04 (2006.01)

A 0 1 N 43/80 (2006.01)

【 F I 】

A 0 1 N 25/04 1 0 2

A 0 1 N 43/56 D

A 0 1 N 25/00 1 0 1

A 0 1 N 25/30

A 0 1 P 7/04

A 0 1 N 43/80 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 8 月 26 日 (2013.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組成物の総質量を基準にした質量で：

(a) 約 0.3 ～ 約 30 % の 3 - プロモ - 1 - (3 - クロロ - 2 - ビリジニル) - N - [4 - シアノ - 2 - メチル - 6 - [(メチルアミノ)カルボニル]フェニル] - 1 H - ピラゾール - 5 - カルボキサミドと；

(b) 20 で少なくとも約 5 質量 % の水溶性、約 5 ～ 約 18 の範囲の親水性 - 親油性バランス値および約 900 ～ 約 20000 ダルトンの範囲の平均分子量を有する、約 5 ～ 約 70 % の非イオン性エチレンオキシド - プロピレンオキシドブロックコポリマー成分と；

(c) 約 20 ～ 約 95 % の水とを含む殺虫剤懸濁液濃縮組成物。

【請求項 2】

成分 (b) が、組成物の約 20 ～ 約 70 質量 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

成分 (a) に対する成分 (b) の比率が質量基準で少なくとも約 1 : 1 である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

成分 (b) の親水性 - 親油性バランス値が約 8 ～ 約 15 の範囲である、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

成分 (b) の平均分子量が約 2 0 0 0 ~ 約 8 0 0 0 ダルトンの範囲である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

成分 (b) が、ポロキサマー、逆ポロキサマー、ポロキサミンおよび逆ポロキサミンからなる群から選択される 1 種またはそれ以上の非イオン性エチレンオキシド - プロピレンオキシドブロックコポリマーを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

成分 (b) が、ポロキサマーから選択される 1 種またはそれ以上の非イオン性エチレンオキシド - プロピレンオキシドブロックコポリマーを含む、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

約 0.1 % ~ 約 15 質量 % の、3 - ブロモ - 1 - (3 - クロロ - 2 - ピリジニル) - N - [4 - シアノ - 2 - メチル - 6 - [(メチルアミノ)カルボニル]フェニル] - 1H - ピラゾール - 5 - カルボキサミド以外の 1 種またはそれ以上の生理活性物質をさらに含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物を水で希釈して、希釈された組成物を形成する工程と、害虫またはその環境を、殺虫的に有効な量の前記希釈された組成物と接触させる工程とを含む、害虫を防除するための方法。